

## 福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（1月分）

留学先大学：ハンブルク大学

氏名：杉山栞里

明けましておめでとうございます。今年は人生で初めて海外で年越しを体験しました。といっても私は年末から新年にかけて部屋にいたのですが、大晦日の昼頃から外では爆竹や花火などの発砲音が鳴り響いていました。年越しの瞬間には一斉に音が大きくなり、窓からは遠くで花火が上がっているのが見えました。私の寮からでもうるさく聞こえたので、中心地の方ではかなりの騒音だったと思います。日本との違いも感じつつ、新年を祝う気持ちはどこの国でも同じなんだなと思いました。

今回の報告書では、期末試験や帰国準備、旅行などについて書きたいと思います。

### 【期末試験について】

私が受けている5つの授業全てで期末試験がありました。4つは筆記試験で、1つはプレゼンテーションでした。

試験は最後の授業の1週間前に行い、最後の授業で試験の結果や解答の確認をしたり、授業評価アンケートをしたりしました。私が受けた授業はすべて1月下旬に終了しました。

1週間の中で4つのテストと1つのプレゼンをしたので大変でした。中でも英語のディスカッションの授業は、一番テスト勉強に力を入れました。範囲が広く、内容も難しかったので、毎日夜遅くまで勉強したにもかかわらずテスト当日は不安でしたが、そのおかげもあってテストの出来は一番良かったので嬉しかったです。しかし、そのテストと同じ日にあった英語の授業のテストは、勉強不足であまり良い点が取れませんでした。その授業の先生にテストは簡単だと言われていたので油断していました。勉強すれば確実に分かる内容だったので、とても悔しかったです。

アート作品を見て英語でディスカッションをする授業では、期末プレゼンテーションを行いました。テーマは、自分が好きなアート作品を1つ選び、それについて自由に紹介するというものでした。私自身、そこまで美術に詳しくないので何について発表するか悩みましたが、授業の中に日本人が私1人ということを活かして、日本の美術作品を紹介することにしました。私は「鳥獣人物戯画」について発表したのですが、英語で説明するのは新鮮で面白かったです。それまでは名前くらいしか知らなかったのですが、プレゼン作成にあたって色々調べる中で、新しい知識を得ることができました。また、

質疑応答のなかで、自分自身、日本の文化や特徴についてまだ知らないことがたくさんあるんだなと思いました。自分の国について、もっと知ることも大切だと感じました。

ドイツ語のテストも、不安だったのでかなり勉強しました。テストはリスニングと筆記の2セクションに分かれていました。当然、問題文もドイツ語です。初めの頃の私だったら、何を聞かれているのかも分からずパニックになっていたことでしょう。しかし勉強の甲斐もあって自分なりによくできたと思います。特にリスニングは、最初の頃よりも確実に上達していると感じました。毎日電車の中や町中でドイツ語を耳にしまくっているのです。単語を聞き取り、だいたい何について話しているのかが分かるようになりました。しかし、自分で文章を作るのはまだ難しく、テストの最後の「手紙に対する返事を40words以上で書く」という問題ではあまり上手く書くことができませんでした。これからも継続してドイツ語を勉強し、いつかドイツ語でスムーズに会話ができるようになりたいです。

授業の評価は、出席や授業態度、課題、テスト結果などを考慮してつけられます。私とはとにかく休まずに出席することを目標にしていたので、1度も休まず全ての授業に出席しました。そのおかげもあり、全ての授業で単位を取ることができました。私の留学の最大の目標の1つが単位を取ってくることだったので、それが達成できて本当にうれしいです。それだけでも留学をした意味があると感じるので、頑張っって本当に良かったと思います。

### 【帰国準備】

手続きに始まり、手続きに終わる留学生活です。しかし帰国に関わる手続きは、来た時よりも少なく楽です。

まず、帰国日が決まったら寮の管理人に伝え、退寮日と部屋のチェック日を決めます。そして、寮に入る前に払った敷金(家賃2か月分)が契約終了日から約8週間後に返ってくるので、その振込先(日本の銀行口座)を伝えます。私の場合は、部屋のチェック日に口座を記入する用紙をもらい、提出しました。また、私は3月まで契約していたのですが、帰国を1か月早めたため、3月分の家賃を払う必要があり、帰国とともにドイツの銀行口座を解約するので、どのように払うかを相談する必要がありました。管理人さんに相談したところ、返ってくる敷金のうちから3月分の家賃を引いておくとのことでした。

次に、大学から除籍する必要があるなので、キャンパスセンターに行き、帰国日を伝えて、退学証明書(Exmatrikulationsbescheinigung)を受け取ります。キャンパスセンターは大学から歩いてすぐのところにあります。中に入って3階か4階に行くとサービス

窓口があるので、そこで「退学証明書を発行したい」と伝えると、いつ・なぜ除籍するのかなどを記入する用紙と番号札を渡されるので、順番が来るまで用紙を記入して待ちます。自分の番号がスクリーンに出たら、その部屋へ行って対応してもらおう、という感じでした。英語でOKなので、割と簡単にできます。

そして次に、健康保険の解約をします。退学証明書や退寮日の記載された書類のコピーを持っていき、保険会社の窓口で解約を伝えます。この時に、残りの保険料の支払い方法などを確認しておく必要があります。

また、私の寮の場合、洗濯するときに使った IC チップも会社に郵送で返却する必要があります。これらの手続きが終了してから、銀行窓口で口座の解約手続きを行います。

さらに、帰国後にも少しやらなければならないことがあります。帰国してから1週間以内に、ハンブルクのウェルカムセンターのサイトから転出届の書類をダウンロードし、記入したものをパスポートなど他に必要な提出書類のコピーとともにメールで送信します。その後ウェルカムセンターから転出確認書がメールで届くので、それを保険会社の担当者にメールで送ります。

あと、私の寮では、退去の際にカーテンをクリーニングに出し、そのレシートを提出しなければならないとのことでした。

大変そうに感じますが、最初の手続きと比べると簡単です。計画的に準備を進めることをおすすめします。

### 【留学最後の旅行】

留学生活ももうすぐ終わるので、最後に少し遠くへ旅行に行ってきました。今回は一人旅だったので少し不安でしたが、すべて計画通りにうまくいき、天気予報ではずっと雨だったのに私が観光しているときは晴れていたもので、運が良かったなあと思います。3泊4日で、ドイツのローテンブルク、フランスのストラスブールとコルマールに行ってきました。どの町も本当に美しく、歩いているだけで幸せな気分になりました。

初めてドイツから出たのですが、フランス語が分からずとても不安だった中で、英語表記や英語が伝わる環境の大切さを感じました。また、ドイツに戻ってきてドイツ語が聞こえると、フランス語よりは理解できるので安心しました。こういうところからも、自分の語学力が上がっているのかなと感じ、少しうれしかったです。



← ローテンブルク (Rothenburg ob der Tauber)

アルザス地方・コルマール(Colmar) → ドイツ国境近くの街で、「美女と野獣」、「ハウルの動く城」の舞台となったことで有名です。かつてドイツ領だった歴史もあり、ドイツの街並みに似ています。



#### 【おわりに】

これで最後の月例報告書になります。約4か月と少しという、とても短い留学生活でしたが、思い返せば最初の怒涛の手続きラッシュや不安でいっぱいだった日々がかなり前のことのように感じます。このような貴重な留学体験をできたのも、国際課の方々をはじめ、教員や家族など、各方面からサポートしてくださった皆様のおかげだと思います。とても意義のある留学生活を送ることができました。本当にありがとうございました。